



予算総額 2,486億9,226万4千円

一般会計 1,591億9,000万円

特別会計 655億9,254万6千円

水道事業 98億6,409万4千円

公共下水道事業 140億4,562万4千円

平成22年度の予算決まる

一般会計は対前年度比18・2%増、中核市移行準備、福祉、教育に重点的に配分

2月22日から3月17日まで開かれた第1回市議会定例会で、平成22年度予算が可決されました。吉井町との合併により市域が広がったため、予算額も増加しました。一般会計予算は1591億9千万円で、前年度比18・2%の増加です。

特別会計予算と企業会計予算を合わせた総額は、13・9%の増加です。

財政運営の根幹となる市税は、前年度比2・4%増加の553億8388万3千円を計上しました。

財政状況が一段と厳しさを増

す中、財政の健全性を堅持しつつ、市民が「安心・安全」で活力ある生活を送るために必要な事業に、重点的に予算配分を行いました。

特に、中小企業への融資枠の拡大や融資条件の緩和などの措置を講じ、厳しい経済状況に直面する中小企業の資金繰りの円滑化を進めます。

また、医療保健センター(仮称)と新図書館を一体的に整備していくほか、JR高崎駅東口周辺やスマートインターチェンジ、生涯学習・男女共同参画センター(仮称)などの整備に取り組み、第5次総合計画の着実な推進を図ります。

各会計の予算額

会計別	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)/(B)
一般会計	1,591億9,000万円	1,347億円	118.2%
国民健康保険事業	374億5,840万9千円	339億4,436万5千円	110.4%
介護保険	224億3,135万8千円	196億6,679万9千円	114.1%
牛伏ドリームセンター事業	1億2,542万5千円	1億2,048万円	104.1%
特別後期高齢者医療	32億7,772万6千円	30億7,210万4千円	106.7%
老人保健	779万2千円	8,548万7千円	9.1%
会簡易水道事業等	1億3,864万3千円	1億6,955万7千円	81.8%
計農業集落排水事業	1億8,821万9千円	2億2,773万2千円	82.6%
駐車場事業	5億2,869万5千円	5億3,051万2千円	99.7%
土地取得事業	14億3,627万9千円	21億2,432万3千円	67.6%
小計	655億9,254万6千円	599億4,135万9千円	109.4%
水道事業会計	98億6,409万4千円	92億9,997万4千円	106.1%
公共下水道事業会計	140億4,562万4千円	143億3,114万4千円	98.0%
合計	2,486億9,226万4千円	2,182億7,247万7千円	113.9%

歳出費目用語解説

- 民生費=福祉など市民の安定した社会生活を保障するために必要な経費
- 商工費=商工業の振興を図るための支援や観光振興のための経費
- 教育費=小・中学校などすべての教育関係に要する経費
- 土木費=道路、橋、河川、公園などの建設や維持に要する経費
- 総務費=市の各種計画の策定や推進、市の内部管理などの経費
- 公債費=市の借入金の返済に要する経費
- 衛生費=市民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費
- 消防費=消防事業や災害防除または災害が生じた場合の被害を軽減するための経費
- 農林水産業費=農林業の振興を図るための支援や生産基盤設備などの経費
- 議会費=議会の活動に要する経費
- 労働費=雇用促進に係る経費や労働者のための施設管理などに要する経費
- 災害復旧費=災害によって生じた被害の復旧に要する経費
- 予備費=当初予期しなかった予算外・予算超過の支出に充てるための経費



高崎市長 松浦幸雄

わが国は、一昨年から続く経済危機に対し、繰り返し緊急的な対策を講じてきた結果、景気底上げの効果が徐々に表れつつありますが、急激な成長は望めず、回復は緩やかなものにとどまっています。

そのような中、本市は昨年6月の吉井町との合併により人口が37万人を超え、北関東・北信越地域における存在感もますます高まりました。

平成22年度の予算編成に際しましては、「安心で活力あるまちづくりの実現」を最重点に、福祉や教育などの分野に重点的に予算を配分するとともに、来年4月の中核市移行に向けた準備や保健医療の充実、高崎駅東口の拠点性の向上、中心市街地活性化につながる事業にも積極的に取り組みます。

さらに、今年は市制110周年の年でもありますので、年間を通じ市内全域で60にのぼる記念事業を実施します。

まちづくりの節目を契機に、高崎のさらなる飛躍と発展を期するため、今後とも、本市の経済の力、文化の力、市民の力を結集し、高崎独自の魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、市民の皆様には、なお一層のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



地産農産物の消費拡大促進……………88万円
 商店街環境施設整備支援……………2,339万円
 中心市街地商業活性化支援……………2,174万円
 中小企業向け融資の促進……………256億2,316万円
 高崎まつりや各地域の祭りの開催……………1億4,161万円
 観光振興計画推進事業……………372万円

人々がつどう魅力あるまち

- ▶高崎産食材を使用する飲食店などに、のぼり旗や認定だるまを提供し、高崎産食材の消費拡大と地産地消を促進
- ▶養豚経営の負担軽減のため、肉豚出荷価格が安定基準価格を下回った場合に出荷経費の一部を補助
- ▶商店街の街路灯・案内板などを整備するための商業環境づくりを支援
- ▶中心市街地の商業活性化を総合的に支援するため、商店街団体のイベントなどに補助
- ▶中小企業の円滑な資金繰りを確保し経営の安定を図るため、融資条件の緩和措置などを実施
- ▶「高崎まつり」をはじめ各地域の祭りやイベントを支援し、観光都市としてのにぎわいを創出
- ▶中心市街地の観光回遊や体験型観光などの事業を実施し、観光振興計画を推進

便利で快適な住みよいまち

- ▶市内循環バス「ぐるりん」の運行路線を再編成し、都心循環線を含めた新たな路線での運行を開始
- ▶道路の陥没事故を未然に防止するため調査を実施
- ▶区画整理事業は、高崎駅西口周辺地区や倉賀野駅北地区、浜尻北地区、高崎操車場跡地周辺地区、上中居地区、群馬中央第二地区を重点的に整備
- ▶高崎駅東口第八地区と高崎駅西口第四地区の再開発を推進
- ▶街路事業は、高前幹線や矢中下斎田線、堤下線、富岡生原線、下芝線などの道路整備を実施
- ▶高崎駅周辺の魅力と集客力を高めるため、東口ペDESTリアンデッキの整備や駅舎改修、駅前広場の再編成を推進
- ▶交通結節点機能の向上を図るため、スマートインターチェンジを整備
- ▶山名市営住宅の第5期建て替え工事を実施
- ▶上水道は、配水管の敷設や老朽管などの敷設替えによる管網整備事業や、施設改良などを引き続き実施
- ▶下水道は、管渠整備のほか、事業認可計画などの見直しや高崎駅周辺中心市街地の浸水対策に向けた調査を実施



バス交通対策事業……………4億6,945万円
 道路空洞化調査……………728万円
 区画整理事業……………30億5,508万円
 市街地再開発事業……………1億920万円
 街路事業……………13億7,242万円
 高崎駅東口周辺整備事業……………15億2,140万円
 スマートインターチェンジ整備事業……………6億7,368万円
 山名市営住宅建替事業……………1億9,241万円

市民とつくるみんなのまち

- ▶市民の地域づくり活動への参加意識を喚起し、地域活動をより一層推進
- ▶平成23年4月の自治基本条例施行に向け、多くの市民の声を聴く機会として、タウンミーティングやフォーラムなどを開催
- ▶男女共同参画社会を創造するための拠点施設として、男女共同参画センター(仮称)を旧群馬中央中跡地に生涯学習センター(仮称)と一体的に建設
- ▶平成23年4月に高崎経済大学を公立大学法人へ円滑に移行するため、法人の組織運営体制や人事労務制度などを構築
- ▶こども憲章の制定宣言を行い、5月のこどもの日を中心に記念事業として啓発活動を実施
- ▶「こどもが輝く都市づくり」を実現するため、こども都市宣言を行う
- ▶市制施行110周年を記念し、記念式典や記念事業を実施
- ▶平成23年4月1日の中核市移行に向け、市民へ周知



生涯学習・男女共同参画センター(仮称)イメージ図

地域づくり活動推進補助事業……………7,140万円
 自治基本条例の制定……………321万円
 男女共同参画センター(仮称)建設……………1億8,712万円
 高崎経済大学法人化推進事業……………4,507万円
 こども憲章の啓発……………720万円
 こども都市宣言……………145万円



吉井総合福祉センター(仮称)建設……………1,844万円
 吉井地域障害者施設(仮称)建設……………1,500万円
 児童養護施設整備費補助……………4,460万円
 放課後児童健全育成事業……………4億7,604万円
 保育所等緊急整備事業費補助……………1億3,956万円
 子ども手当の給付……………75億4,000万円
 保健所準備事業……………1億5,044万円
 医療保健センター(仮称)建設……………43億4,883万円
 肺炎球菌個別予防接種の助成……………390万円
 ヒブ(Hib)個別予防接種の助成……………271万円

すこやかで元気に暮らせるまち

- ▶榛名地域に福祉相談やボランティア推進の拠点として福祉会館を、図書館と一体的に建設
- ▶吉井地域に地域福祉の充実や交流の場、福祉相談の拠点として総合福祉センターを建設
- ▶吉井地域に障害者の地域活動拠点として障害者施設を建設
- ▶児童養護施設に入所する児童の増加に対応するため、施設建設費の一部を補助
- ▶放課後の児童の健全育成を推進するため、放課後児童クラブの運営と施設整備を実施
- ▶私立保育所の施設整備に対して、建設費の一部を補助
- ▶中学3年生までの子ども1人あたり月額13,000円を給付
- ▶平成23年4月1日の中核市移行に伴う保健所設置の準備
- ▶中央保健センターや保健所、準夜診療所などの機能を備えた医療保健センター(仮称)を新図書館と一体的に建設
- ▶肺炎球菌個別予防接種に対し、75歳以上の市民を対象に費用の一部を助成
- ▶ヒブ(Hib)個別予防接種に対し、2歳未満の乳幼児を対象に費用の一部を助成

豊かな心と感性が育つまち

- ▶新しい芸術・文化ホールの整備について検討組織の立ち上げや、基本構想策定の準備
- ▶企画文化事業として、第44回松竹大歌舞伎などを開催
- ▶市美術館や市タワー美術館、染料植物園でそれぞれ企画展を実施
- ▶昭和56年以前に建設された校舎などの耐震診断を行い、診断結果に基づき補強設計や補強工事を実施
- ▶自校方式の給食を市内全域の小・中学校に順次拡大
- ▶倉淵地域の3つの小学校を統合するため、諸室とプールを建設
- ▶中川小学校のプールや中尾中学校、佐野中学校の校舎を建設
- ▶生涯学習推進の拠点施設として、生涯学習センター(仮称)を旧群馬中央中跡地に男女共同参画センター(仮称)と一体的に建設
- ▶多胡碑に記されている多胡郡の建郡1300年を記念し、特別展やシンポジウムを開催
- ▶地域の社会教育活動の拠点となる下里見公民館(仮称)を建設
- ▶新図書館を医療保健センター(仮称)と一体的に建設
- ▶群馬地域に軟式野球場や少年野球場、レクリエーション広場などの施設を一体的に整備



医療保健センター(仮称)・新図書館建設現場

芸術・文化ホール整備検討事業……………1,235万円
 芸術企画文化事業……………3億2,495万円
 耐震補強事業……………5億2,388万円
 自校方式給食拡充事業……………4,439万円
 倉淵統合校整備……………1億7,559万円
 義務教育施設の整備……………9億5,977万円
 生涯学習センター(仮称)建設……………2億9,068万円
 多胡郡建郡1300年記念事業……………579万円
 下里見公民館(仮称)建設……………1,964万円
 新図書館建設……………29億18万円
 群馬地域運動広場(仮称)整備……………9,230万円



市民安全推進事業……………4,509万円
 太陽光発電システム導入補助……………7,500万円
 新町クリーンステーション(仮称)整備……………1,804万円
 焼却施設等整備方針調査検討……………1,100万円
 エコパーク榛名第2期施設整備……………3億815万円
 観音山公園整備……………2億7,200万円
 防災訓練事業……………540万円

安心でやすらぎのあるまち

- ▶防犯情報の提供や自主防犯活動団体への支援を行い、犯罪抑止活動を推進するとともに、市内全域の防犯パトロールを実施
- ▶地球温暖化対策として、太陽光発電システムの導入経費の一部を補助
- ▶一般廃棄物のストックヤード整備に向け、新町清掃センターの解体に着手
- ▶老朽化した高浜クリーンセンターの施設を調査し、今後の整備方針を検討
- ▶エコパーク榛名の埋め立て期間の延長を図るため、第2期の施設整備を実施
- ▶カッパピア跡地を中心に観音山公園を整備
- ▶災害発生を想定した防災訓練を実施

今年度の予算を特徴付ける主な事業の概要とその予算額を6つの項目に沿って紹介いたします。問い合わせは、財政課(☎321-1214)へ。

平成22年度予算の特徴